

ねんこんだまり

麻機遊水地の自然環境の保全や、自然環境を生かした様々な取組みを行うための「麻機遊水地保全活用行動計画」を作成しました。来年度からこの行動計画に基づき取組みを進めていきますので、今後も皆様方のご協力をお願いいたします。



2017年3月21日 No.46

■「麻機遊水地保全活用推進協議会」が設立されました

平成28年7月に、「巴川流域麻機遊水地自然再生協議会」の役割を引き継ぐ新たな組織として「麻機遊水地保全活用推進協議会」が設立されました。そして、7月に開催された第1回総会以降、合同部会、専門委員会等を開催し、委員の方々の意見を聞きながら、協議会における取組みについて記した「麻機遊水地保全活用行動計画」の作成を進めてきました。

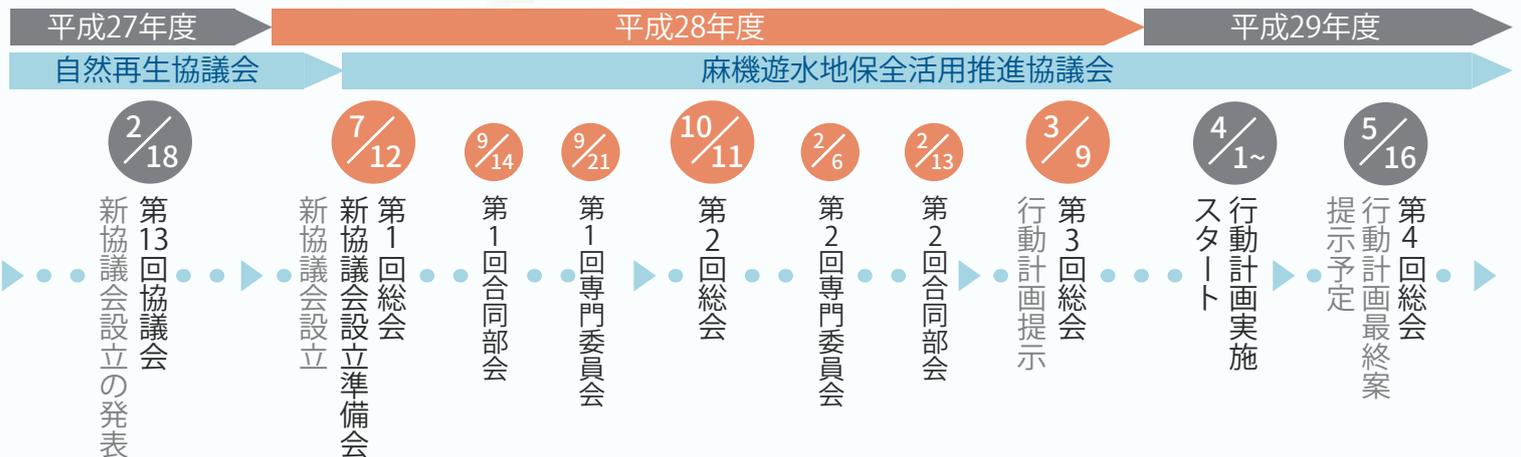
平成29年3月9日に開催された第3回総会では、これまで作成した「行動計画（案）」が提示され、平成29年4月から行動計画の取組みがスタートすることとなりました。なお、平成29年5月16日に開催される第4回総会にて、行動計画の最終案が提示される予定となっています。

※行動計画の取組みについては裏面をご覧ください



第3回総会の様子 (2017/3/9)

●これまでの流れ



■平成28年度の取組み

今年度も保全活動や観察会、イベントなど様々な取組みを進めてきました。今後の活動予定やこれまでの取組み等は、本協議会のホームページに掲載していますので是非ご覧ください。（「麻機自然再生」で検索）

●これまでの取組みが表彰されました！

「再生・保安全管理部会第3工区班」の活動内容が評価され、2月3日に開催された「川づくり団体全国事例発表会」にて表彰されました。

また、「ジャパン・レジリエンス・アワード（強靱化大賞）2017」に新設された「グリーンレジリエンス大賞」で、ベアテル麻機部会の取組みが最優秀賞に選ばれ、3月15日に表彰されました。



川づくり団体全国事例発表会 (3/15)



サクラタデ観察会 (10/15)
麻機湿原を保全する会



遊水地フェスタ (10/22)
麻機遊水地フェスタ実行委員会



オニバス観察会 (8/27)
再生保安全管理部会第3工区班



ジャパン・レジリエンス・アワード
表彰式 (3/15)

【麻機遊水地の自然再生に関する活動の支援、参加を募集しております】

静岡県静岡土木事務所河川改良課 TEL:054-286-9363 FAX:054-286-9398 HP:<http://asabata.org/>

「行動計画」における各部会の主な取組み

※行動計画の詳細は、協議会ホームページの第3回総会の配布資料からご覧になれます。

自然再生部会

1. 湿地の攪乱
 - ・ 第3工区のみズアオイ群落発生箇所での攪乱。
 - ・ 第4工区のみズアオイ群落などの生育エリアにて現状維持の取組み。
2. 火入れ実験
効果的、効率的に植生遷移を抑制し、多様性のある湿地環境とするために、試験的に行う。
3. 自然観察会と今後を担う人材の育成
環境教育や人材育成などを目的として、遊水地の自然観察会などを実施。



湿地の攪乱



自然観察会

ペーテル麻機部会

1. 水田整備（第3工区）
環境教育、地域交流の場として活用。
2. 埋土種子実験と埋土種子の里帰り
学校と連携し実験を行い、埋土種子を明らかにする。
3. お散歩観察会
病院利用者の方の健康増進、気分転換、患者さんと市民との交流を目的に観察会を実施する。
4. 堆肥作り
除草した刈り草を堆肥化し、耕作作業に活用する。
5. 6次産業化
農作物の食品加工、植物を利用した工芸品の開発。
6. ヨシの活用
遊水地内で、ヨシの迷路や遊び体験など、ヨシを活用し、植生遷移の抑制を図る。
7. 自然博物館
周辺施設にて遊水地の動植物やパネルの展示を実施。
8. 各種イベント
9. 循環バスの運行
周辺施設を結ぶ循環バスを運行する。



水田整備（第3工区）



各種イベント

地域活性化部会

1. 水田整備（第1工区）
水田環境を再生し、水田環境に依存する動植物の保全、再生を図る。
2. ハスの保全
第1工区の水田の保全、ハス池の維持管理活動。
3. 風俗・風習の継承
「柴揚げ漁」や「沼のばあさんの伝説」など、麻機地域の風俗・風習を後世に引き継ぐ。
4. 竹灯籠作り、展示
周辺の放置竹林対策として行う。竹灯籠の廃材は竹炭やチップ化し遊水地内での活用を図る。
5. 各種イベント
市民や障がい者の方々との交流、自然との触れ合いなどを目的とし、各種イベントを実施する。



水田整備（第1工区）



各種イベント

協議会

1. 水位調査と適正な開放水面の確保
2. 水質改善実験
3. 水質調査
4. 湿地の攪乱（第3工区）
5. 表土保全
6. 雑木の抑制、雑木部の環境維持
7. 外来植物の駆除
8. ミシシippアカミミガメ、外来魚の駆除
9. その他生物の調査
10. 自然観察園、自然観察コースの整備、管理
11. 生き物・パネル展示、出前講座
12. 利用に関するルール作りとその周知
13. 清掃活動
14. 周田堤の美化活動
15. 施設の改修
16. 関係機関との連携
17. 広報活動



ミシシippアカミミガメの駆除



水質調査

保全活用行動計画では、麻機遊水地だけでなく将来的には周辺部の山地や農地、川などの自然環境も保全しつつ、地域、病院、学校、企業などと連携し、自立発展型の地域活性化を目指します。麻機遊水地ランドデザインの柱のキーワードである「自然」「健康」「交流」「憩い」「共生」「体験」をテーマに将来構想を描き、官民連携で地域活性化に寄与する取組みを進めていきます。